

－ 令和6年度工賃向上計画支援等事業 事業計画－

農福連携マッチング等支援事業 第4四半期全体会議

神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室
令和7年3月27日



ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

- － 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- － 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- － 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- － 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

農福連携マッチング等支援事業

令和2年度から農家と福祉サービス事業所をマッチングする取り組みを開始

農家

- 人手が欲しい
- 事業を拡大したい
- 高齢で作業が難しい etc.



農地での作業

作業依頼

作業実施

マッチング
調整支援

障害福祉サービス事業所

- 農作業に興味がある
- 色々な作業を行いたい
- 工賃を上げたい etc.



作物を持ち込んで事業所での作業

神奈川県、中間支援組織(NPO等)

事業実施の経緯

令和 2 年度

令和 3 年度

令和 4 年度

実施内容

- 農福連携コーディネーター養成講座
- 先進事例のスタディツアー
- 農業者と障害福祉サービス事業所等とのマッチングの場づくり
- マッチング先への農福連携コーディネーターの派遣・調整
(平塚市、藤沢市、秦野市をモデル地域)

量的な機会増加
質的な精度向上



令和 5 年度

実施内容

◆変更点

- 「お試しノウフク」(就農体験会)の実施によるマッチングの増加と請負契約締結に向けた支援を中心にした事業設計に変更
- JA所管域(JA湘南、JAさがみ、JAはだの)への事業エリア拡大

ねらい

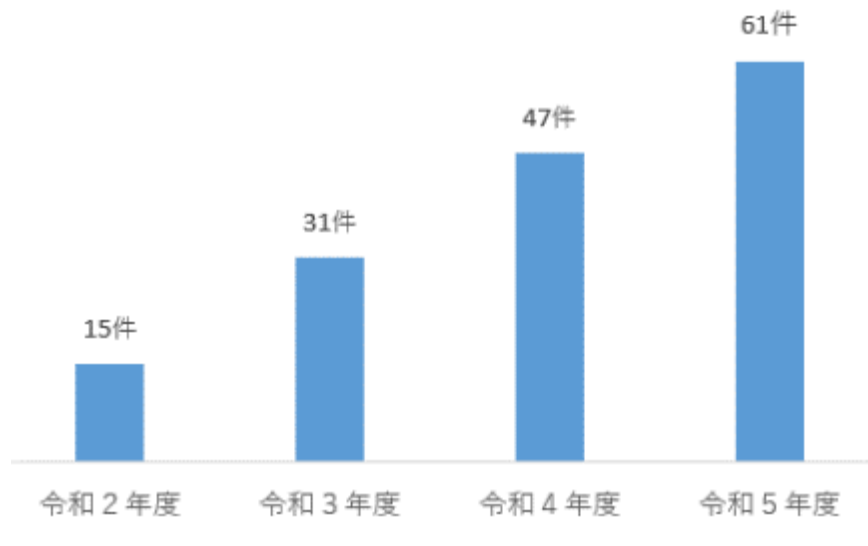
機運の醸成ときっかけづくり、また推進に向けた仲間づくり(コーディネーター)

ねらい

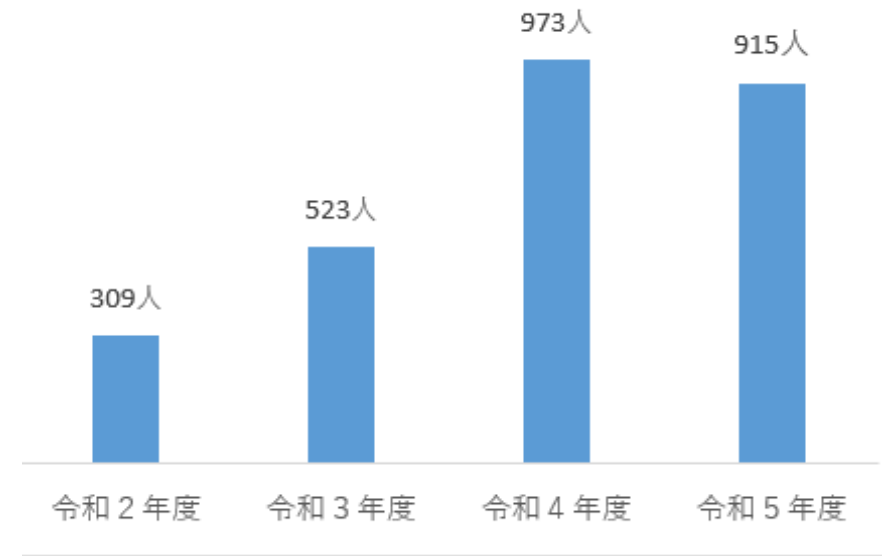
実績づくりと成果の横展開

これまでの実績

マッチング成立件数
(経年延べ数)

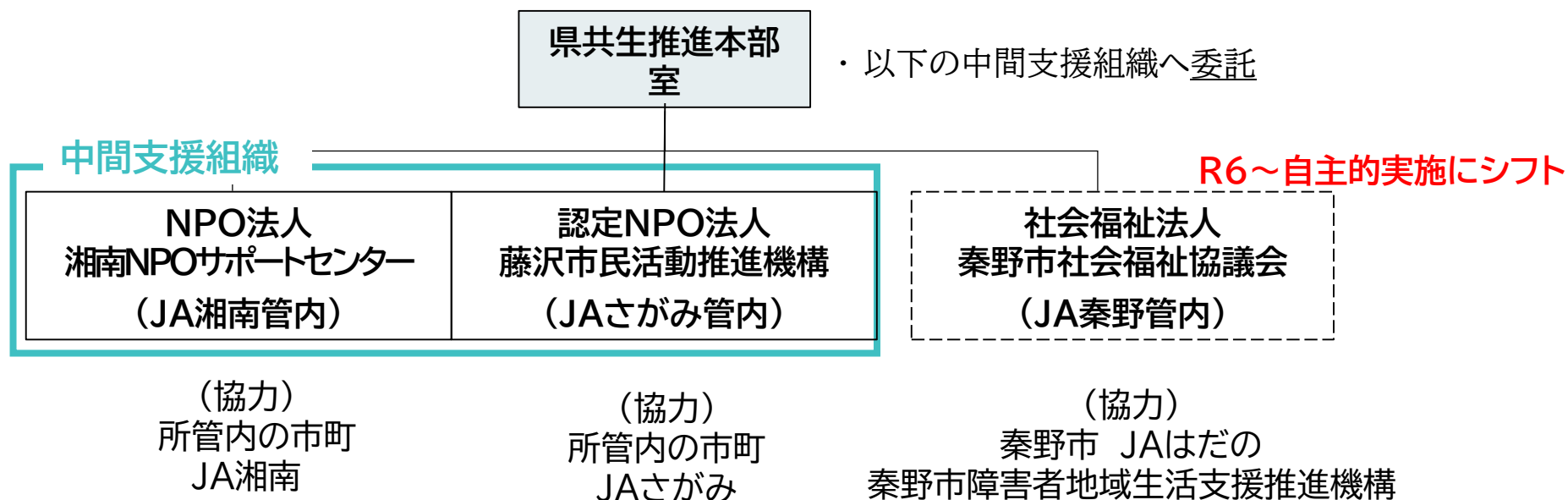


障がい者新規就労者数
(年間延べ数)



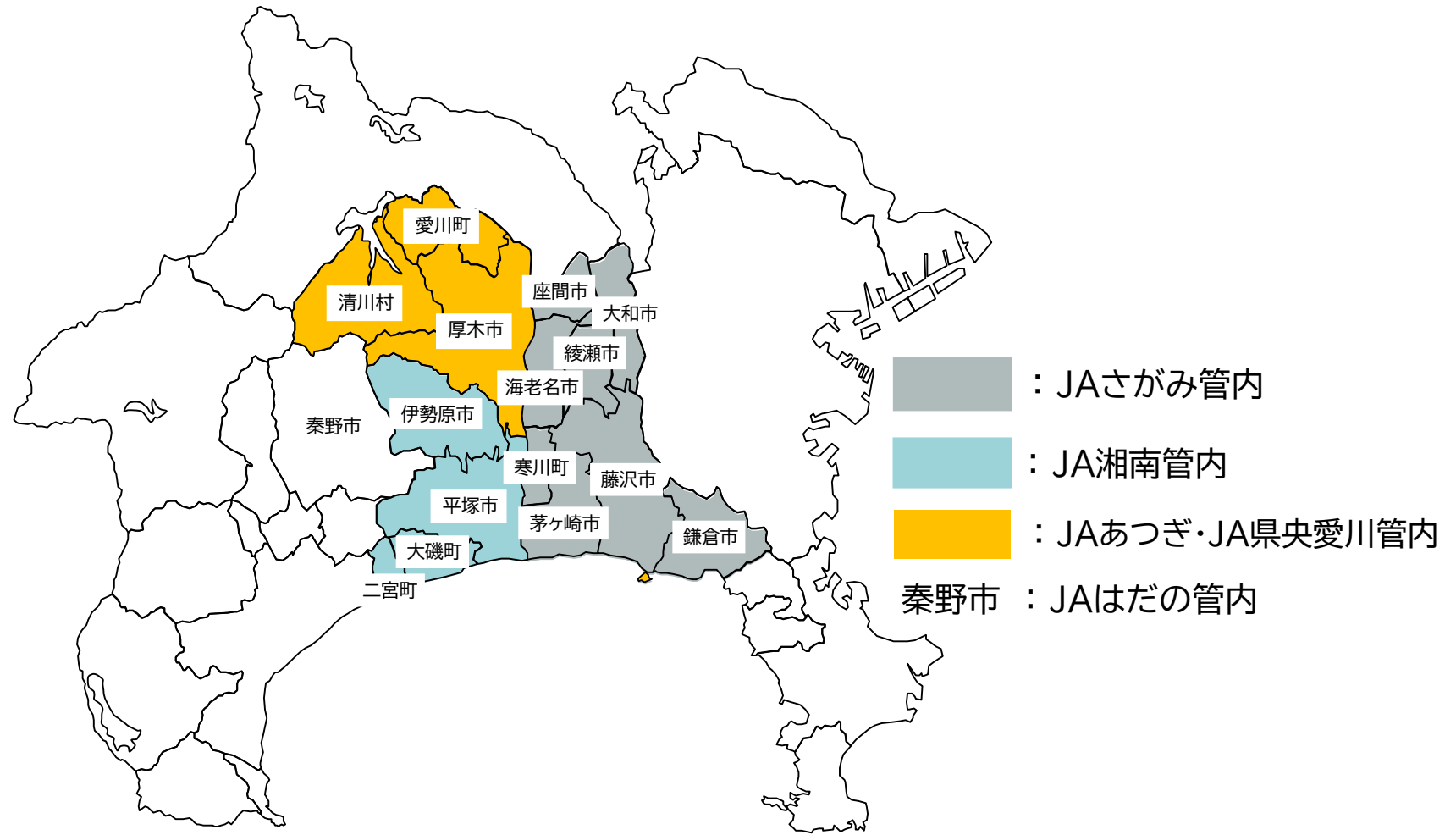
事業開始年度から3倍を超える実績！！

事業の実施体制



令和6年度からさらなるエリア拡大
(JAあつぎ・JA県央愛川での実施)

事業エリアの拡大(県内横展開の推進)



KPIの設定と令和6年度実績

#	項目		令和5年度		令和6年度		
			目標値	実績	目標値	実績	
1	就農体験実施地域(市町)数	3エリア計	5地域	8地域	7地域	7地域	R6実施地域:平塚市、藤沢市、大和市、海老名市、寒川町、大磯町、厚木市
2	延べ就労者数	3エリア計	135人	915人	135人	2002人	設定の考え方:各JA管内9回(×3)の開催で、各回参加者5名を見込む
3	就労機会の確保に繋がったマッチング件数	3エリア計	15件	14件	15件	15件	設定の考え方:各JA管内5件(×3)のマッチングを見込む

<参考> 国事業目標(農福連携推進ビジョン)

- ・ 2030年度までに農福連携に取り組む主体を新たに12,000件創出する。

令和7年度も同エリアでの活動を継続
これまでのマッチング先のフォローアップを実施

参考 | 令和6年度新規事業について

(参考)都市型ユニバーサル農園事業(令和6年度新規)

ユニバーサル農園とは

- ・ 市民農園(農業体験農園)の活用を通じて、多世代、多属性の交流・参加の多様な場を農作業を通じて生み出す
- ・ 生きがいづくりや精神的な健康の確保等の様々な社会的課題の解決にも資することを目的とするもの

社会福祉法人等と連携して県内に開設

①作業しやすい環境 (人に優しい農園)



ビニルハウス



休憩所・倉庫・トイレ

②多世代、多属性の交流と参加 (人が優先)



高齢者・障がい者・子ども・ボランティア etc.

大学等と連携した効果検証

多様な効果！

社会参加

介護予防・リハビリ

癒し

学び

(参考)都市型ユニバーサル農園事業(令和6年度新規)

社会福祉法人光友会「かわうそ農園」をユニバーサル農園として10月から実施

■延べ300人が参加

認知を広げる活動を展開(県・市広報誌掲載、HP開設、収穫祭開催:3/22・25 約50名参加)

ともに生きる: \今月は、ユニバーサル農園を運営する社会福祉法人光友会の一杉 好一さんに伺いました!/\

ユニバーサル農園でともに生きる!

私たち社会福祉法人光友会が運営する「かわうそ農園」は緑豊かな田畑が広がる藤沢市湘南にあり、障害福祉サービス事業所として、これまで無農薬野菜の栽培や販売を行ってきました。昨年10月からは週2日、この畑を地域で暮らす多様な人たちが一緒に農作業を楽しむ「ユニバーサル農園」として開放し、高齢者やひきこもりの方、学生などが参加し、指導者のサポートを受けながら季節に合った複数の野菜づくりに汗を流しています。3月にはユニバーサル農園開園後初の収穫祭を開催予定です。これからも「仲間をつくり、植物と接して、幸せになろう」を合言葉に、ともに生きる社会をつくっていきます。

ユニバーサル農園についてはこちら

ユニバーサル農園参加者の皆さん

ともに生きる社会 かながわ憲章

平成28年10月14日 神奈川県

- 私たちは、あなたが心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、市民総ぐるみで取り組みます

【上記記事に関する問合せ】 県共生推進本部 ☎045(210)4961 ㊟045(210)8854



■大学と連携した効果検証を実施

参加者に対して、QOLやソーシャルキャピタルなどの尺度を調査

2か月後の変化を分析、学生も活動に参加

令和7年度も毎週火・木で活動を継続、開放イベントも多数企画

(参考)農福連携プラス推進事業(厚労省補正事業)

農福連携の取組みに意欲的な障害者就労支援施設に対して、農業等と福祉の連携のみならず、観光、商工業などを含めたマッチング、立ち上げ支援を一括的に支援し、効果検証を含む事例報告までを一気通貫にしたモデル事業を行い、事例の全国展開をすることで、農福連携の取組を推進する。



Bellmore FUTSAL

ベルマーレフットサル

選手の就職先
地域貢献

農家
人手不足
高齢化で廃業の危機

「農業 × 福祉 × スポーツ」の連携で
それぞれの課題を解決！！

地元農家・選手・障がい者が連携して農業を行う



ittokai

一燈会

介護・障がいサービスの従事者不足
福祉のイメージアップ

ベルファーム = “ベルマーレファミリーの一員”

(参考)農福連携プラス推進事業(厚労省補正事業)

農

- ・ 耕作放棄地の解消
- ・ 地元特産品の維持・保全



開成町特産「弥一芋」の栽培



「足柄名水しいたけ」の
ハウス栽培を新設

福

- ・ 障がい者の工賃向上・活躍の場確保
- ・ 販路拡大



障がいを持つ利用者の作業



アセスメントツールの活用

+α

- ・ 選手の働く場
- ・ 地域貢献



スポーツ選手の参画
試合会場での販売



地元事業者と連携した販路拡大
6次化の検討

「五方良し」の農福連携+α連携を実現！全国に展開！